

委員会主催研修会の報告

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会

第2回災害対策研修会が開催されました。

去る、平成26年1月26日(日)横浜ワールドポーターズにおきまして「災害対策委員会 第2回災害対策研修会」が開催されました。

東日本大震災からもうすぐ3年が経とうとしていますが、災害時におけるリハビリテーションの役割を検討し整備することが急務とされています。今回はその第2弾として災害医療に関する理解を深め、わたしたち理学療法士がとるべき初動対応や大規模災害時の本会災害対策本部の運営に関わる事項について研修会を開催しました。

講師には前回に引き続き、宮城県理学療法士会より後藤 博音氏(宮城県北部保健福祉事務局 健康づくり支援班)、坪田 朋子氏(仙台医健専門学校、元宮城県理学療法士会 災害対策本部住民支援班班長)に加え、神奈川県より阿南 英明氏(神奈川県災害医療コーディネーター、厚生労働省医政局参与)をお招きして、東日本大震災における宮城県理学療法士会やDMAT(災害派遣医療チーム)がとった初動対応について、災害現場・地域におけるコーディネーションの実際と今後の課題について現地コーディネーター(後藤氏)、後方支援コーディネーター(坪田氏)、災害医療コーディネーター(阿南氏)の立場からお話いただきました。

災害医療における救急救助期・救急医療期にかけて行われる人命救助を主とした医療救護活動の基本コンセプトや災害現場におけるマネージメント、公衆衛生・感染予防に関する知識やライフライン(インフラ)に関する視点、広域搬送・移動時のリハ関連職の介入、そして災害時のトイレ問題と多岐に渡る内容で大変学びの多い機会となりました。

また後藤氏、坪田氏からも地域特性に合った支援活動のビジョンを明確にする大切さ、災害時のニーズに対して、わたしたちに何ができて、有事の備えとして地域に必要なリハビリテーションはどうあるべきかなど、大変興味深いお話をいただきました。災害対策委員会からも今年度事業の紹介と次年度の展望についてお話しさせていただきました。

今回は60名を超える多くの方々にご参加いただきました。会長、副会長をはじめ、大阪府や東京都、千葉県、岩手県からもご参加いただきました。本当にありがとうございました。次年度も第3回災害対策研修会や災害対策キャラバンを開催する予定です。さらに具体的な災害対策・防災施策を実行していきたいと思っております。より多くの方々のご参加をお願い致します。

(文責: 神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次)

